

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 6日

事業所名 放課後等デイサービス きらり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		1	・1F/2Fと分けスペースの確保に努めている。 ・学習などの個別エリアの設置。	今後も、問題点に向き合い安全面等考慮し、より良い環境作りに努めます。
	2	職員の配置数は適切である	3	3		・児童スケジュール等で調整を行い整えている。	法令遵守しておりますが、放課後は送迎時間などの都合でフロア内の不足を感じることもあり、営業時間の改善に努めました。今後も状況に合わせてより良い支援の提供ができるように努めていきたいと思えます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1	・階段の移動時は手すりはあるがスタッフが付き添いをおこない安全面での配慮を行っている。	今後も必要に応じた改善を図り安全面を考慮してまいります。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	4		活用できるように会議等で議題にしている。	全体で取り組めるようにしていますが、スタッフそれぞれのスキル等もあり今後も研修等の参加を行い全体で参画できるようにしてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			必要に応じて事業所評価以外のアンケートも作成している。	運営の中で、保護者様方の意向等を抽出できるように引き続きアンケート等配布し改善に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1			毎年、事業所ホームページの掲載と事業所内の掲示・保護者様への配布等で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	4	現在回収場所を別に設けて意見をいただいております。	回収場所を別に設けることで、第三者より外部の評価を得られるようにしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				引き続き継続してまいります。
適切 な 支 援 の 実 施	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				引き続き継続してまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	4	1		現在、新規契約の方より新アセスメントツールを使用し改善に努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	1	活動のプログラム作成は内容により個別・チームで動いています。	活動内容によりそれぞれで話し合いを行い立案にあたっているが、それぞれのスキル等もありスキルアップを行いながら改善に努めてまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2			できる限りの改善を図り固定化しないように努めてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	1		その都度改善を図りスタッフ間できめ細やかに支援できるように改善を図っています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			集団の場では、参加が難しい児童様への配慮を行い見学などそれぞれの段階に合わせて計画しています。	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				必ず、ミーティングを行い実施しております。長期休暇等は時間の確保に制限があり支援時の影響もあった為、今回の営業時間の変更を行い、良質な支援の提供につなげていきたいと考えています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	1	1	日誌を活用し次の日のミーティングで共有できるように努めた。	支援・送迎・勤務体制等で終礼は行えないが、スタッフ間や日誌にて共有をはかり、次の日のミーティングで全体周知と共有を図れるように努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1			記録紙の改善中。	記録は実施できているが、検証改善につながるような様式に欠けているため、2月より改善を図り、検証改善が明確化するように努めた。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			1		毎月の会議にて支援状況や内容の見直しに努めています。今後も継続していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	3				ガイドラインの熟知に至っていない為、スタッフへの熟知に努めています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6					今後も、引き続き参画に努め、会議にて決定したことや得た情報を、スタッフ間で共有し支援提供に反映していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1				お子様の安全面等を考慮し情報の共有に努めていますが、学校側の受け入れ状況に差があるのが現状です。お子さま方の安心・安全につながるための情報の共有が円滑にできるよう事業者内でも連絡調整を今後も行いますが、引き渡し状況等困難が生じる時は、必要に応じて県・市町教育委員会等にも助言をいただきながら情報の共有が円滑にできるように努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2				移行支援会議に参加し情報の共有を図り共通理解ができるように努めております。必要に応じて、訪問を行い情報収集を行い支援提供にあたりスムーズな利用につながる様に支援していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4				必要時にのみ行っている状況であり、できる限り情報提供できる書式を作成し取り組んでいる様に改善します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	1			必要に応じて関係機関との連携をとる様に努めています。今後も体制の整備に努めて連携できる機会を作っていくように改善を図ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	3			公共施設等に出向き同じ環境で過ごす機会を設けています。今後、改善し機会作りに努めていきます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		1	5			情報収集を行い参加ができるように改善していきます。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1				利用時の引き渡し時に直接お話をしたりご利用日以外にも連絡等ができるような環境作りを行っております。今後も、お子さま方の発達に合わせた支援に努め保護者の皆さまのお力添えができるように努めていきます。	

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	2	できる範囲で助言や環境作りなどのアドバイスをできるように努めました。	ペアレントトレーニングは行っておりませんが、事業所内での成功事例を基に助言し、家庭内での困り事への支援を行っています。今後も、ご利用されているお子様方の成長を促し、ご家族の皆様への支援にも努めていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				ご見学・ご契約時に細やかな説明ができるように心がけております。今後も、引き続き行っていけるように努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2		相談内容に応じて、ふさわしいスタッフでの対応を心かけた。	スタッフ間で相談の内容の共有に努めました。今後も相談の内容に合わせて適切な対応・助言ができるように、スタッフ間でスキルアップをはかり支援できるように努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6	保護者会の開催ができない分、ご家庭の取り組みや悩み事などスタッフを介し共感できる感きゅうお作りに努めました。	コロナの影響もあり出来ておりません。次年度は、そのような機会を作りたいと考えています。ぜひ、多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2		体制の整備等に努めている。	苦情等に繋がらないように、保護者の皆様と連絡を取り合い情報の共有に努めて対応をしているところです。今後も、継続し対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				引き続き継続していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6				引き続き継続していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				今後とも、連絡帳や通信機器等の活用を行い、意思疎通や情報の伝達に努めていきます。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6		コロナの影響もあり出来ておりません。今後そのような機会を作りたいと考えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2			全てにおいてマニュアルを策定しているが、保護者様への周知に関しては不足も感じます。今後、機会を作り発信できるように努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			利用児童様に合わせた訓練を行う様にしている。	定期的な避難訓練と災害時に備えた学習時間を作り利用されているお子様方への訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				委員会の設置をし法人内研修や事例検討などを行い防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				保護者様面談等で協議し計画書に記載させて頂いています。また、そのような事に繋がらないように支援内容の見直しを行い、身体拘束を行わずに過ごせるような改善に努めています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		保護者様への聞き取りを行い必要に応じて、共通理解できる書式を用いて医師も助言等を記載できるようにしている。	アレルギー症状に関しては、ご契約時に保護者様からの聞き取りを基に必要な応じて共通理解をできるようにしております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			ヒヤリハット様式にてスタッフ間で共有し改善に務めている。	事故トラブル等を未然に防げるように、ヒヤリハットが出た時に回覧し会議にて改善を図っております。	